

テーマ 厄除け

主な花材



ヒオウギ

(徳島県産)

名前の由来は、扇を開いたような葉の姿から付けられました。災厄除去が起源とされている京都の夏の風物詩・祇園祭では、祭りの期間中、魔除けとして床の間や軒先にヒオウギを飾る習慣があります。

花言葉：誠意、個性美



ピンポン菊

(秋田県産)

「ピンポン玉」のように丸く咲くマム（菊）という意味から「ピンポン菊」と名付けられました。マムとは、菊の学名である「Chrysanthemum」を短く「mum」と呼ぶことからきています。

花言葉：君を愛す、真実、高貴、私を信じて



アセビ

(奈良県産)

名前の由来は、馬が食べると酔ったように足がふらつくことから付けられたといわれています。2月から4月に、白や赤の小さな花をたくさんつけます。

花言葉：純真な心、献身

